

鹿児島県漁海況週報

平成30年4月19日発行(4月12日～4月18日)
第2751報【旧暦:2月27日～3月3日/月齢25.6～2.0/潮汐:中潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、4月18日現在、平瀬の南0.37マイル付近にあり、離岸している。

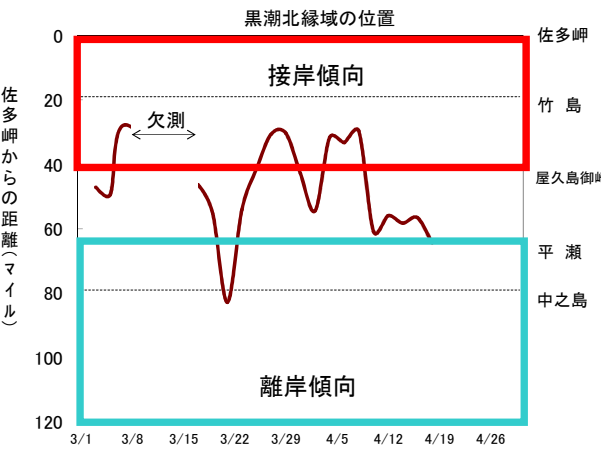
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、4月17日現在、51マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、中之島、笠利崎、与路島、与論で0.5～2.0℃昇温し、黒潮流域で変わらず、その他の海域で0.3～1.9℃降温した。

平年比較では、屋久島御崎で“かなり低め”、竹島で“やや低め”、黒潮流域、与路島、甌海峡で“やや高め”、笠利崎で“著しく高め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	24.7	+0.0	+0.8	やや高め
鹿児島	18.5	-1.7	+0.4	平年並
佐多岬	19.2	-1.1	-0.1	平年並
竹島	19.9	-1.9	-0.8	やや低め
屋久島御崎	19.7	-1.5	-1.8	かなり低め
中之島	23.6	+0.5	+0.3	平年並
笠利崎	24.0	+2.0	+1.8	著しく高め
与路島	22.6	+0.5	+0.7	やや高め
与論	22.6	+0.9	+0.4	平年並
甌海峡	19.5	-0.3	+1.1	やや高め

鹿児島一那覇定期客船観測は4/18-19
串木野一甌定期客船観測は4/18

【漁況】

○定置網

甌島海域では、週計でマサバ(100～800g)が8トン、フリ(4～8kg)が1トン、メジナ(0.5～1.5kg)が450kgの入網。西薩南部海域では、サバ類豆が多い日で2トン、フリ(4～8kg)が800kg/日、アカマス(100g)が100kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ハガツオ(1.6～1.9kg)が0.7～1トン/日、フリ(4～7kg)が450～750kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、サバ類(500～800g)が200～500kg/日、ハガツオ(1～2kg)が100～350kg/日、フリ(3～6kg)が100～350kg/日、マアジ(300～500g)が250～300kg/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で47統がマアジ小、カタチイワシ、フリ主体に64トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカタチイワシ、ウルメイワシ、マアジ主体に12.1トンの入網。

○バッチ網

西薩海域では、生で1～2トン/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期	
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	1	2	マダイ21 マアジ大20 マアジ中15	2.0	4	127	2	34
		中	10	188	縄瀬 野間池沖 阿久根沖 長島	18.8	10	59	13	153
	枕崎	大	4	200	馬毛島内之浦沖	50.0	3	151	1	51
		中	9	178	内之浦沖 馬毛島立目崎沖 湯瀬	19.8	8	256	9	471
	内之浦	中	0	—		—	1	9	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
	計	大	5	202		40.4	7	279	3	85
	中	19	366		19.2	19	324	22	624	
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—		—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	18	12	阿久根沖 長島	カタチイワシ91 サバ類仔9	0.7	0	—	1	1
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	47	64		マアジ小29 カタチイワシ16 フリ12	1.4	45	107	52	58
刺網	阿久根	86	11	甌 長島	キナゴ100	0.1	19	2	28	2
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—		—	0	—	0	—
		小	0	—		—	0	—	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
		海旋	2	1563		カツオ小71 キハダ16 カツオ中10	781.3	2	941	0

○キビナゴ刺網

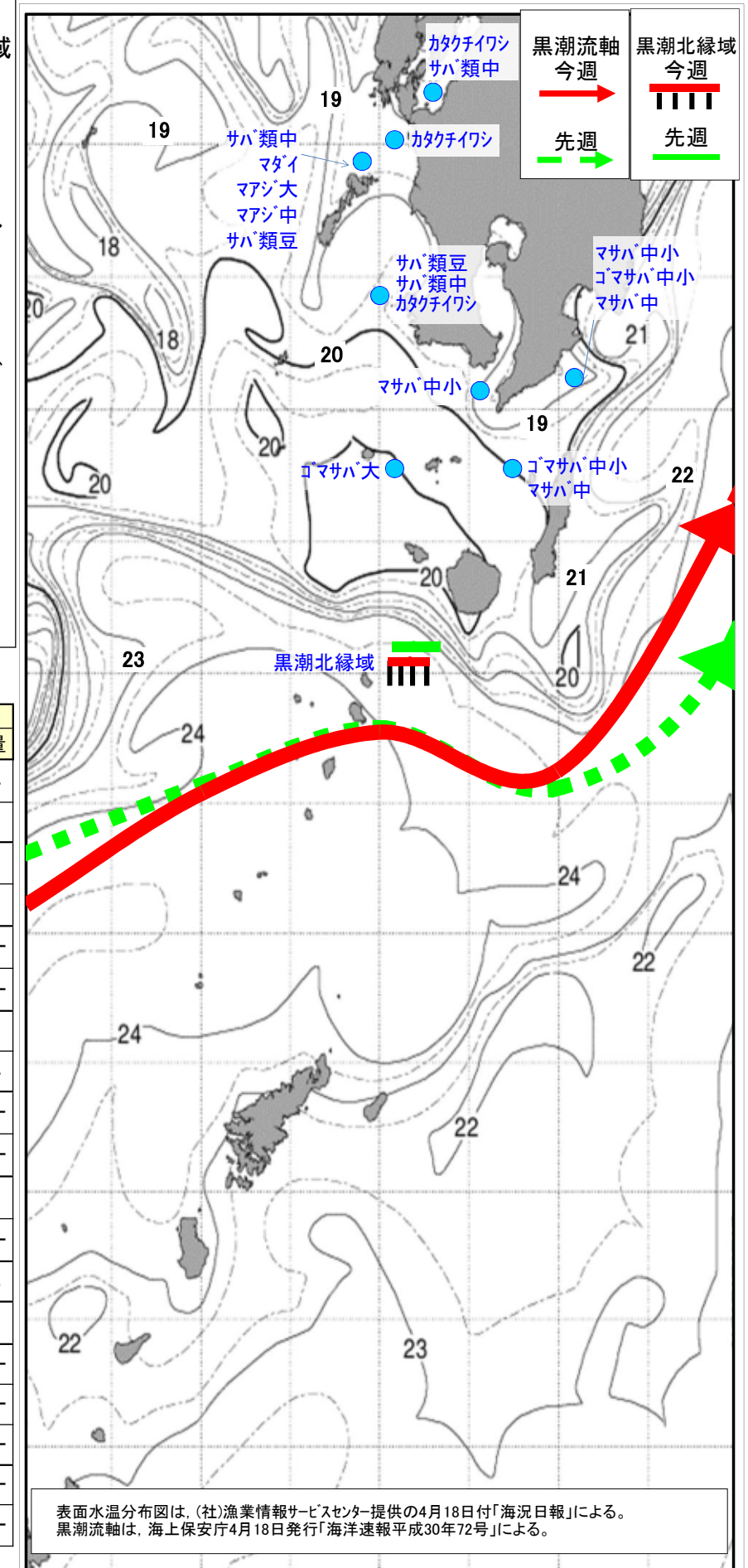
甌島海域では、3～5箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、10～20箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、10～20箱/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、大トビを3～4箱/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを5～40箱/統・日、大トビを3～10箱/統・日の漁。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.5～3kg)を15～80kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを200kg/隻・日の漁。曳縄でハガツオ(1.5～1.8kg)を100kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、刺網でヤマトカマス(100～200g)を150～200kg/隻・日の漁。種子島海域では、曳縄でハガツオ(1.2～1.6kg)を50～60kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの4～5日操業でソデイカ(胴体のみ10～11kg)を500kg/隻の漁。一本釣りの2日操業でチウオ(1～1.5kg)を200kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の4月18日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁4月18日発行「海洋速報平成30年72号」による。